

ESA でのドメイン固有の免責事項の追加

目次

[概要](#)

[ドメイン スペシフィック免責事項を追加して下さい](#)

[メッセージ フィルタと特定のドメインに免責事項をリンクして下さい](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) にドメイン スペシフィック免責事項を追加する方法を記述されています。

ドメイン スペシフィック免責事項を追加して下さい

通常エンドユーザは送信リスナーに免責事項を追加します。これは ESA GUI ネットワーク > リスナー > 下記のリスナー名前 > 免責事項の上のまたは免責事項ですることができます。既に文書による免責事項を使うと、必要に応じてリスナーにこれを追加できます。

それがドメイン スペシフィック免責事項を追加する要件のかもしれない場合があります。ドメイン スペシフィック免責事項を追加することは二ステップ プロセスです。

免責事項を作成して下さい

免責事項は ESA GUI メール ポリシー > テキスト リソース > Add テキスト リソースから作成されます。

この例に関しては、免責事項 テンプレート タイプを使用し、3 つの別々の免責事項を作成します : example_com、example_net および example_org。

コンテンツ フィルタと特定のドメインに免責事項をリンクして下さい

免責事項はコンテンツ フィルタを通した特定のドメインにリンクすることができます。ESA GUI メール ポリシーから > 発信コンテンツ フィルタは『Add Filter』をクリックし。によって、エンベロープ 送信側 オプションを使用して、条件を規定しますドメインを追加して下さい。最終的にはヘッダかフッターとして免責事項を使用したいと思ったらおよび前書かれていた免責

事項を選択するために規定して下さい、と処理を、追加免責事項テキスト オプションを使用して追加して下さい。

免責事項を作成したときに開始した例と続いて、ドメインとして example.com、および関連する免責事項を使用します:

メッセージ フィルタと特定のドメインに免責事項をリンクして下さい

免責事項はまたメッセージ フィルタで特定のドメインに追加することができます。メッセージ フィルターはフィルターを使用して ESA CLI から追加されます:

```
myesa.local> filters
```

Choose the operation you want to perform:

- NEW - Create a new filter.
 - IMPORT - Import a filter script from a file.
- ```
[]> new
```

Enter filter script. Enter '.' on its own line to end.

```
example_com_Disclaimer:if (mail-from == "@example.com")
{
 add-footer("example_com");
}
.
```

```
1 filters added.
```

similar スクリプトによって - mail-from および追加フッター行を変え、フィルターの新しいサブコマンドを使用してメッセージ フィルターを追加することを繰り返しま、example.net のための関連するフィルター、および example.org を追加します。新しく作成されたフィルターを見るのにリスト サブコマンドを使用できます:

```
[]> list
```

```
Num Active Valid Name
```

```
1 Y Y example_com_Disclaimer
2 Y Y example_net_Disclaimer
3 Y Y example_org_Disclaimer
```

主要な ESA CLI プロンプトに戻り、変更を保存して下さい。

## 関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)